



けすぞう新聞

2019年12月発行
NO.24
播磨町消防団女性分団

2年後の全国大会へ向けて

「第24回全国女性消防操法大会」

2019年11月13日、横浜赤レンガ倉庫イベント広場（神奈川県横浜市中区）で開催された「第24回全国女性消防操法大会」の視察に行ってきました。

女性消防団員等の女性消防隊員の消防技術向上と士気の高揚を図り、もって地域における消防活動の充実に寄与することを目的として、日頃の訓練により培った消防操法技術を競い合う大会です。全国女性消防操法大会は、昭和60年に第1回大会を開催し、平成9年以降は2年ごとに開催しており、今大会で24回目となります。

都道府県代表の女性消防団員等が、迅速、確実かつ安全に行動するために定められた消防用機械器具の取扱い及び操作の基本について、その技術を競います。

大会で競技される消防ポンプ操法は、軽可搬ポンプを使用した「軽可搬ポンプ操法」です。出場隊員5人で軽可搬ポンプからホースをつなげて伸ばし、放水し火点（標的）を倒すまでの安全・確実性と所要時間を競います。



6時20分土山駅を出発、日帰りの過密なスケジュールでしたが、参加した全員とても勉強になりました。

実際に全国操法大会を目の当たりにし、いかにこの大会に出場させていただくことが大変なことか、を実感しました。

会場の雰囲気、熱気、各団体の応援団の多さに圧倒されました。播磨町ではなく、加古郡でもなく、兵庫県を背負っての出場となるのが身に染みて分かる一日でした。

今回の大会で兵庫県代表として出場した芦屋市女性消防隊は、優勝、準優勝に続く「優秀」として団体表彰されました。更に3番、4番の方は優秀選手として個人表彰も受けていました。

2021年開催の「第25回全国女性消防操法大会」に出場します。女性分団は結束して大会に臨みます。応援よろしくをお願いします。



巨大スクリーンには競技の様子が映し出されていました。

各都道府県の代表が日頃の練習の成果を披露していました。



 **消防団員募集** 

地域の安心と安全を守るために、あなたにもできることがあります。